

■地域名 上田市丸子 荻窪

■特徴的な被害対策 クマ侵入防止対策へのハクビシン対策の追加検討

1 地域の概要

集落戸数	うち農家	加害鳥獣	被害農作物等	備考

3 実施した被害対策の内容

区分	実施に当たって工夫等したポイント
これまでの経過	<ul style="list-style-type: none">集落から孤立したブドウ畑において、毎年ツキノワグマの被害が続いていた。<u>昨年度に被害対策チーム、市、所有者で電気柵を設置し、周辺の緩衝帯整備を実施</u>（本年度は所有者が自ら電気柵を設置）今年度、同時に被害の出していたハクビシン対策も考慮し、他の地域への波及効果も狙い、新たな構造を追加。
被害対策	生息環境対策 畑周囲の灌木の刈り払い（農家が実施）
	防除対策 電気柵の設置 <ul style="list-style-type: none">昨年度は被害対策チームデモ機だったが、所有者が上位機を購入。今年度、所有者がハクビシン対策を兼ねるためにラインを低めに張ったが、ツキノワグマに乗り越えられることが懸念されたため、修正を提案し、被害対策チームで、一部を改修。
効果	被害状況 電気柵設置後 H20、21 年度のツキノワグマの侵入なし。ハクビシン被害も激減。
	その他特記事項 畑周囲の環境整備がクマに心理的な防止効果を与えたと推測される。 電気柵設置により相乗効果が出たと考えられる。
農家の方からのコメント	<ul style="list-style-type: none">昨年の効果を見て、メーカーなどと相談しながら設置を工夫してみた。最初は被害が少し出たが、こまめに隙間を塞ぐなどしてハクビシン被害が激減した。クマも現れた様子がない。

4 これからの課題

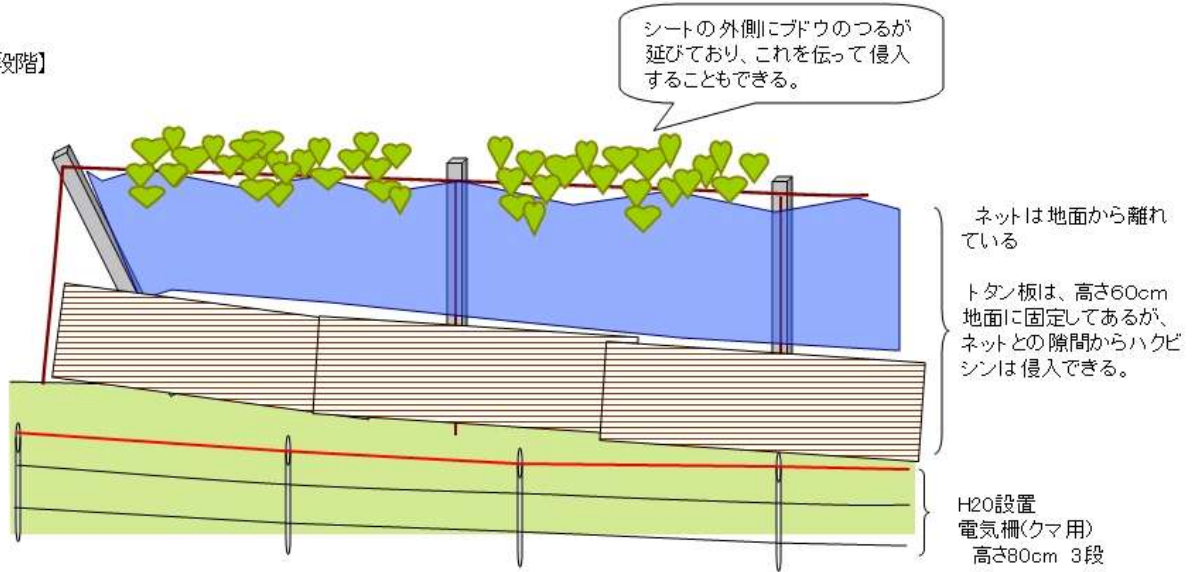
失敗した事柄	チームで提案した方法は、少し手の込んだ方法なので、参加者の関心はあったが、まだ実施してくれる人は現れていない。
これからの課題	効果は確認されたが、設置場所の条件により、工夫が必要。 ハクビシン対策の電気柵は、普及は期待できるが、基本的な技術や原理を理解してもらう必要がある。

5 問合せ先

上小地区野生鳥獣被害対策チーム：上小地方事務所林務課 電話 0268-25-7137

[\(関連\) 野生鳥獣に負けない集落づくり事例集（平成20年度版） 上田市丸子 荻窪地区](#)

【H20段階】



【改良案】

